

# 意思決定の落とし穴

## コーシャスシフト

リスクをとらない意思決定の危険性

# コーシャスシフトとは？

コーシャスシフトは、リスクシフトの正反対に位置する集団極性化の現象です  
一言で言うならば、「**リスクのある意思決定はしない！**」という現象です

なぜそのような現象が起きるのかといえば、

- ・ **責任感（当事者意識）の欠如**
- ・ **失敗することへの極度な怯え（責任を問われることへの恐怖感）**
- ・ **革新への無関心**

などが代表的な心理状態でしょう

ある意味、リスクシフト以上に危険な現象です

なぜなら、**変化することを恐れている**は、**新しいものは生まれず、  
いずれは衰退に向かう**からです

# 対策

では、どのような対策をしたらいいのでしょうか  
正直、大変困難です  
なぜなら、コーシャスシフトが起きるのは、  
**会社の風土、職場の風土そのものにあることが多い**  
からです（同じ会社でも、職場ごとに風土が異なることはよくあります）

風土とは、会社や職場が存続する中で、長年に亘って  
繰り返し行われて来た判断（意思決定）が積み重なって  
出来上がった「**暗黙のルール、価値基準**」と考えます

たとえば、「お客様第一主義」を経営理念で唱えながら、  
「クレームは後回し」などは、そのいい例です

# では、どうするか

1. すべての意思決定にはリスクが内在している  
という、**意識変革**を図ること
2. **リスク回避の知識・技術を身に付けること**
  - ① その意思決定にはどのようなリスクがあるか (**リスクの発見**)
  - ② そのリスクの「**発生確率を下げるにはどうするか**」  
「**発生した場合の影響度を小さくするにはどうするか**」
3. チャレンジする芽を摘まないこと (提案をアタマから否定しない)
4. 失敗を批判・攻撃する風土を作らないこと

今、この会議で何が起こっているか

リスクシフトか、コーシャスシフトか冷静に判断し、  
**正しい意思決定**ができるよう心がけましょう

